

しいたけ原木の救出作戦

7月17日に県北部で発生した集中豪雨により、当管内の岩手町横沢地区では、土砂崩れや道路の損壊等大きな被害が発生しました。

原木しいたけ生産施設でも、川の氾濫によりハウスが半壊するなどして、3000本を超えるホダ木が土砂を被り、埋没・流失しました。

植菌を終え、これから収穫！という時期になっての災害。生産者の方は、しいたけ以外の被害もあり、原木の掘起しにまでは手が回らない状況でした。

しかし、放っておけば、これから発生するしいたけも泥まみれ。雑菌が入り込む可能性もあり、早急に掘起しを行う必要がありました。



【被害を受けたハウス】

そこで、盛岡管内の原木しいたけ生産者の集まりである盛岡地方しいたけ生産振興協議会に呼びかけたところ、急な提案に

～集中豪雨に負けない地域の絆きずな～

も関わらず、遠くは矢巾町から計5名の協力が得られ、林務部職員等5名も加わり、生産者の親族らと共に原木の掘起し作業を行うことになりました。

当初、何日かかるのだろうか…と思っていた炎天下での作業も、マンパワーと高圧洗浄機の活躍により、1日で掘起、洗浄、別ハウスへの移動を終えることが出来ました。



【泥だらけの掘起し作業】

生産者からは「もうあきらめていたのでありがたかった」との言葉をいただき、協議会の方々からは「協議会としてこのような応援は初めてだったが、きずな絆が深まった」との声が得られました。

『困ったときはお互い様』被害は大きいものでしたが、地域のきずな絆がより深まる機会となりました。